



◆ コミュニティ・ソーシャル・ワーカー (CSW)

CSWはCommunity Social Workerの略で、地域において支援を必要とする人々の生活圏や人間関係など環境面を重視した援助を行うとともに、地域を基とする活動を発見して支援を必要とする人に結びつけ、新たなサービスの開発、公的制度との関係の調整などを行う専門的知識を有する人のことです。

◆ 第2班 (CSW班) の活動開始

宍戸ゼミの第2班 (CSW班) のフィールドワークが開始しました。活動開始にあたり、CSWの皆さん、社会福祉協議会の皆さん、東大阪市役所の皆さん、そして地域福祉の専門家でいらっしゃる新崎国広先生が集まる研究会・連絡会に参加させていただくことができました。

東大阪で現在生じている様々な生活問題についてCSWの皆さんから事例報告がありました。認知症の高齢者の方が虐待されている問題、社会的に孤立し、家の中がゴミでいっぱい状態の状態で生活している方の支援にかかわる問題などです。また、新崎先生の方から、地域福祉の歴史的展開や法律上の位置づけに関するレクチャー、他市における地域福祉活動計画の紹介などをいただきました。身近な地域における生活問題と、その支援に関わる課題について知りました。CSWの皆さま、そして、新崎先生、どうもありがとうございました。

公共経営学科 講師 宍戸 邦章

◆ 参加した学生の声

CSWの話し合いの場に参加してもらい、今まで無関心だったことや知らなかったことなど多くのことが聞けて良かったです。他人のプライバシーを絶対に守らないといけないことなどを知りました。どのようなかたちになるかはわかりませんが、少しでも自分達がCSWさんのお役に立てられるよう頑張りたいと思います。

2年 井上翔太

一緒に会議に参加してもらい話を聞くことで、「自分たちの周りでこんな問題が起こっているんだ」と感じました。いろんなところですごい活動をされている方々だと驚きました。CSWの方々に何らかのかたちで関われることは、とても嬉しいことだと思いました。問題や課題を見つけて、問題を解決していけるようになります。

2年 福原庸介

話の内容は難しい所もありましたが、身近な話や、自分の地元が取り組んでいる事が分かりました。自分の頑張り次第で何か出来るんじゃないかな、と思えました。今回のフィールドワークは、周りの大学生の友達に比べて一歩先に進めた様な良い経験になりました。

2年 山本隼輔

認知症の高齢者の方の事例を聴いて、同居家族との問題や行政だけでは解決しきれない問題を知りました。家族や行政だけでなく、地域連携機関がこの家庭の幸せというものを考えることによって、公共サービスの力を発揮することが大切だと感じました。

3年 道古昌行



新崎国広先生 (大阪教育大学 准教授)



大阪商業大学
Osaka University of Commerce

協力



社会福祉法人
東大阪市社会福祉協議会



教育 GP 宍戸ゼミナール
2010年度 活動記録 3

コミュニティソーシャルワーカー (CSW)

の研究会・連絡会へ参加

—第2班 CSW班の活動開始—

場 所 東大阪市社会福祉協議会 高齢者サービス・センター
日 時 2010年5月13日 14:00~17:00